

# 部 局 経 営 方 針

平成19年度

薩摩川内市

部局名	建設部	部局長名	石澤 一美
-----	-----	------	-------

部 局 内 の 経 営 資 源	当初予算	77億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		85人	11人	96人

部局の使命 (組織の存在価値)	建設部の使命は、市民生活の安心・安全の確保及び生活環境の改善を図ることである。 市民生活の安心・安全のための防災、災害復旧の実施及び所管施設の適正管理を行う。 道路、公園、住宅等の計画的な整備による生活環境の改善を行う。	組織目標像	<b>【施策の目標像】</b> 所管施設について、管理不足による事故の撲滅 危険箇所(出水、がけ地)の計画的な解消 施設の計画的整備による快適環境の実現 <b>【組織の目標像】</b> 部内各課連携による異常事象時等の即応体制の確立 市民等からの要望・問題提起に対し、即行動・早期の回答 支所との連携、効率的な業務遂行体制の確立
--------------------	--	-------	---

## 平成19年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)
施設の点検・維持管理の徹底	所管施設における管理瑕疵による事故の発生を0(ゼロ)にする。	各課連携し、異常箇所を発見したら所管課に速やかに連絡する。 コミュニティ協議会等に協力依頼を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築住宅課において、市営住宅公園内の遊具等の安全点検を実施(H19.5.21~30)した。</li> <li>・建設維持課においては、協議会等からの危険箇所指摘に迅速に対応した。</li> <li>・交渉等で指摘されたことや異常箇所については情報を直ちに所管課に連絡し事故を未然に防いでいる。</li> </ul>
危険箇所の点検及び危険度の把握整理	3年以内に調査点検を行い、危険度を把握整理する。	支所と連携し、調査体制を整える。 調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支所とは十分な連携が取れている。</li> <li>・建設維持課においては、危険箇所の防災点検を実施しているが、他においては、具体的な調査には未着手である。</li> </ul>
所管施設敷地内への不法投棄等の抑	道路、公園敷地内に空き缶、犬の	啓発用看板の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築住宅課では、市営住宅地内での犬・</li> </ul>

# 部 局 経 営 方 針

平成19年度

薩摩川内市

<p>制</p>	<p>フンの放置が目立たない。</p>	<p>コミ協，自治会への協力依頼，パトロールの実施 年度別要監視路線等の決定</p>	<p>猫等の飼育や餌付けの禁止看板の設置及びチラシの配布を行なった。 ・都市計画課においては，駅前輪場にいたずら防止看板を設置した。 ・建設維持課においては，放置自動車の監視の徹底を行なった。 ・建設整備課においては，指定管理者への指示を定期的に行い，公園管理を行っているが，ゴミや糞については，減少しているとの報告を受けている。</p>
<p>道路，公園，住宅等の計画的整備</p>	<p>可能な限り予算を確保する。 整備率0.1%の改善</p>	<p>効率的な予算の執行 工法等の検討によるコスト縮減 早期発注への取り組みと積極的な用地交渉</p>	<p>・建設整備課では，前年度より，早い発注が出来ている。繰り越しを抑えるよう，11月までの発注を目指している。 ・建築住宅課における予算の執行（工事請負費）は，建築住宅課分は6割近いが，執行委託分は，43.9%である。 ・天辰区画整理推進室においては，家屋移転の効率向上により，仮設費等削減し，効率的な予算執行，コスト縮減を図っている。 ・都市計画課においては，川内駅周辺地区についてはH19予算上半期約50%執行達成するとともに，発注工事すべてにおいて設計段階からコスト縮減を図っている。また，家屋移転予定10戸のうち8戸契約済みである。 ・建設維持課では，市民の要望等を中心に効率的予算執行，設計段階でのコスト縮減，早期発注に努めた。</p>
<p>年度末の達成状況【主な実績】</p>			